

結城農業かわら版



第147号

令和4年9月20日

発行元：結城地域農業改良普及センター

TEL：0296-48-0184

FAX：0296-48-2682

水稲種子の圃場審査を行いました

JA北つくば結城種子生産部会は、水稲種子を86ha規模で栽培しており、県内第二位の産地を担っています。

普及センターではJAや市役所の職員と共に第1次（7/27～8/12の間延べ9日間）、第2次（8/24～9/14の間延べ8日間）の圃場審査を行いました。

優良種子には、①高い純度（変異株や異品種が混ざらない）、②高い発芽率、③充実した粒、④健全な種子（種子伝染性病害がないこと）が必要条件となります。その中で圃場審査は①及び④を確認するために、出穂期以降に2度行っています。

第1次及び第2次の審査ではいずれの圃場も適切に管理され、全圃場（約450圃場）が合格となりました。

2回目の圃場審査合格後に行われる発芽試験及び生産物審査と、農産物検査にすべて合格すると晴れて種子として各地域に届けられます。

普及センターでは、より信頼される種子産地となるよう、引き続き支援を行っていきます。



収穫適期講習会を開催しました

9月5日、JA北つくば結城種子生産部会並びに結城普通作部会は、合同の収穫適期講習会を市内の水稲種子生産圃場など8か所で開催し、計40人の参加がありました。

良質な水稲種子の生産につなげることを目的とし、普及センターから①出穂後の積算気温（日平均気温の積算）による収穫時期の目安、②帯緑色劣率による収穫時期の確認方法、③収穫後の管理について説明しました。また、令和5年産に向けた難防除雑草の対策やヒメトビウナ、カメムシ類の越冬地を無くす水田周辺雑草の対策の確認も行いました。

7月～8月の気象状況により今年の登熟は平年よりも進んでいるかと思われましたが、平年並みの登熟であることが確認できました。

部会員からは「自分の圃場もいつ収穫できるのか確認したい」、「実際に穂の登熟具合を確認して、収穫時期を判断することの重要性が分かった」といった声が聞かれました。

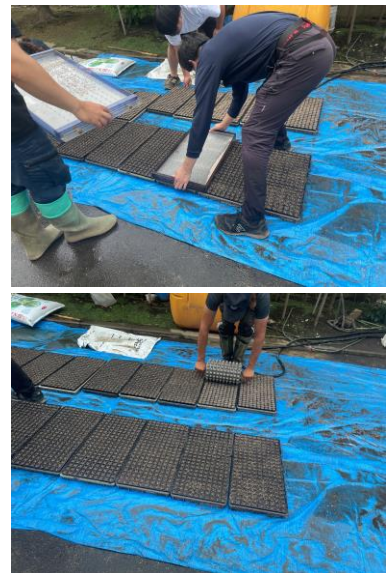


結城4Hクラブがハクサイ播種を行いました

結城市農村青少年クラブ（4Hクラブ）では、毎年冬期の共同プロジェクトとしてハクサイの栽培を行っています。また、収穫したハクサイは11月に開催する農業祭に出品する予定で、クラブ員が直接お客様に販売することで、経営のノウハウを学ぶ機会にもなっています。

8月29日（月）、クラブ員がハクサイの播種を行いました。重要病害である根こぶ病に耐性を持つ品種「あきめき」を使用し、セルトレイによる育苗作業を行いました。

クラブ員は細かく作業手順を話し合っていたため、効率よく進めることができました。また、今後の作業予定も入念に確認しあい、9月13日に定植、10月下旬に収穫の予定としました。



JA常総ひかりサツマイモ圃場巡回を実施

JA常総ひかりでは、需要の多いサツマイモの栽培に今年度から本格的に取り組んでおり、JA常総ひかり、JA全農いばらき県西推進事務所、県西VFステーション、普及センターが連携しながら支援をしています。

9月8日（木）、サツマイモ栽培2年目の生産者及び新たに始めた生産者の全圃場を巡回し、生育状況や病害虫の有無を確認しました。また、試し掘りを行い、サツマイモの品質を確認しました。サツマイモは順調に肥大しているのが見られました。

普及センターでは関係機関と連携しながら、サツマイモ栽培の品質向上につながるよう、支援をしていきます。



令和5年度茨城県立農業大学校入学生を募集しています

➤ 募集人員等

農業の実践力を養います。大学への編入資格も得られます。

区分	募集人数	受験資格	修業年限	専攻コース
学科	農学科	40名	2年	普通作・露地野菜・果樹
	畜産学科	10名		-
	園芸学科	30名		施設野菜・花き
研究科	10名	農業大学校卒又は短大等卒業以上若しくは卒業見込みの者		作物・園芸・畜産

➤ 願書受付・入学試験

試験区分	願書受付期間	試験日	選抜方法
推薦入試 (各学科)	令和4年10月3日(月)～10月21日(金)	令和4年11月1日(火)	小論文 口述試験(個別面接) 調査書等
一般入試 (各学科)	前期	令和4年11月14日(月)～12月9日(金)	筆記試験 口述試験(個別面接) 調査書等
	後期	令和5年1月30日(月)～2月22日(水)	
研究科 一般入試	令和4年11月14日(月)～12月9日(金)	令和4年12月16日(金)	

➤ 問い合わせ先

茨城県立農業大学校 入試事務局 TEL 029-292-0010